

令和5年度 学校自己評価表

坂町立小屋浦小学校

	中期経営目標	短期経営目標 (今年度)	評価項目 (具体的な取組・方策)	評価指標	参考値	目標値	実績値		成果と課題	改善策
					令和4年度	令和5年度	中間	最終評価		
確かな学力(全力)	課題に全力で粘り強く取り組む児童を育てる。	◎表現力の向上 ◎基礎学力の向上	○探究的な学びを意識した単元作り ・めあてを提示し、めざすゴールを明確にする。 ・振り返りの視点を意識させ、振り返りを充実させる。 ・はがみタイムを活用し、補充、発展など、個別の指導の充実を図る。 ・家庭学習習慣定着時間を設ける。	坂町標準学力調査 (国・算・理・英)	坂町標準学力調査 (国・算・理・英) 目標値(全体) +5pの項目が 18項目中10項目 40%未満 5%	坂町標準学力調査 (国・算・理・英) 目標値(全体) 目標値を上回っている項目が 18項目中10項目 40%未満 7%				
			○ICTの効果的な活用の推進 ・ICTを用いて、各教科の基礎の習熟などに取組む。基礎学力の向上を図る。 ・ICTを活用した授業づくりの工夫・改善について校内研修を行い、指導法を共有する。 ・授業の中で、基本的な操作や資料作成の技術を学年ごとで習得する場を設ける。	坂町学びのアンケート (ICT、授業) 児童アンケート	アンケート7項目のうち、肯定的評価が8割以上の項目7項目 児童アンケートは 肯定的評価 「パソコンを使った学習は分かりやすい」 児童97%	アンケート7項目のうち、肯定的評価が8割以上の項目5項目以上 児童アンケートは 肯定的評価 「パソコンを使った学習は分かりやすい」 児童95%				
			○はがみタイムの活用 ・はがみタイムの一つに、けん玉を取り組む。楽しみながら、課題を継続して粘り強く取り組む場とする。	児童アンケート	肯定的評価 「最後まであきらめず粘り強く取り組む。」 児童 88%	肯定的評価 「粘り強く取り組むことができる。」 児童 90%				
豊かな心(感謝・貢献)	感謝の心を持ち、進んで人のために行動する児童を育てる。	◎自己肯定感の高まり ◎自己有用感の高まり	○あいさつ・返事の定着 ・1学期(返事)、2学期(挨拶)のめあては目標を取り入れ、自己評価させる。 ・11月の挨拶週間に合わせて取り組む。(挨拶ポストに今日の挨拶名人を書いて投函させ、集計結果を掲示する。)	児童アンケート 学期ごとのめあての振り返り	肯定的評価 児童 97% 児童 99% めあての振り返り向上 1学期 92% 2学期 90%	肯定的評価 児童 90% 児童 90% めあての振り返り向上 1学期 90% 2学期 90%				
			○感謝の気持ちを育む場 ・各学級で感謝の気持ちを伝える活動をする。(例えば学級・運営委員会からスマイルレターを提案する。) ・3学期のめあては目標を取り入れ、自己評価させる。	児童アンケート めあての振り返り	肯定的評価 「ありがとう」 児童 97%	肯定的評価 「ありがとう」 児童 90%				
			○人の役に立つことの実践 ・時間いっぱい、丁寧に掃除を取り組ませ、振り返りの場を設定する。 (掃除の仕方の指導についで統一を図る) (運動時筋通帳のポイントに掃除の内容を入れる) ・特別活動の充実を図り、人の役に立つ実践の機会を仕組み、振り返りをさせる。	児童アンケート	肯定的評価 「掃除」児童 80% 「自分は人の役に立っている」 児童 96%	肯定的評価 「掃除」児童 85% 「自分は人の役に立っている」 児童 90%				
健やかな体(挑戦)	目標をもち、挑戦する児童を育てる。	◎基礎体力の向上	○体育科の授業改善 ・単元の主運動につながる準備運動を入れ、バランスの良い体力を高める。 ○各種検定での目標設定 ・前学年での結果を元に今年度の目標を設定し、自己記録を意識して取り組ませる。 ○体育朝会の充実・外遊びの奨励 ・体育朝会で運動の楽しさを味わわせる。 ・運動時筋通帳の取組をする。	体力テスト判定 児童アンケート	新体力テスト 長座体前屈 県平均以上 (8/12) ソフトボール投げ 県平均以上 (8/12) 児童 89%	AB率-D率 27%以上 【令和4年度は26%】 「運動することが増えましたか」 児童 90%				
			◎家庭・地域との丁寧な連携・協働 ◎活力ある職員集団の形成	○校長だより、学校だより、学級だより、HPによる教育活動の発信・情報共有 ○心に寄り添う生徒指導と教育相談 ○保護者・地域への迅速で丁寧な対応 ○全学年外部の人材を活用(地域の人材・出前授業等)	保護者アンケート	「保護者・地域と連携し取り組んでいる」 97% 「学校の様子を分かりやすく伝えている」 96%	100% 100%			
信頼される学校	保護者・地域から信頼される学校づくりを推進する。	◎家庭・地域との丁寧な連携・協働 ◎活力ある職員集団の形成	○面談等による役割や目標の確認 ○業務の効率化	教職員アンケート	—	充実感 90% 児童と向き合う時間 85%				

【自己評価 評価基準】 A: 100% ≤ (目標達成) B: 80% ≤ (ほぼ達成) < 100% C: 60% ≤ (もう少し) < 80% D: (できていない) < 60%